



平成30年度 第1回県内学事視察

平成30年8月17日(金) 12:50~15:00

徳島県立脇町高等学校

美馬市脇町大字脇町1270-2



出席者 美馬持仁教育長 松重和美委員 辻貴博委員
藤本宗子委員 小林信行委員 河口雅子委員

○視察内容

スーパーサイエンスハイスクール事業に係る生徒発表と台湾研修報告

「美馬市の活性化」をテーマに2年生4グループから発表がありました。

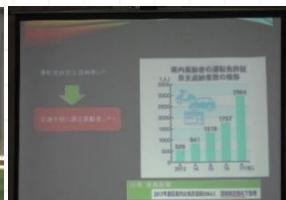
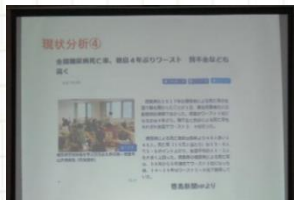


学校の司会進行のもと、1グループずつ、約10分の発表のあと、質疑応答が行われました。最終発表に臨むグループを選抜するため評価も行われました。

各グループで美馬市の課題をREASAS等を用いて分析し、その改善策等のプレゼンテーションが行われました。また、美馬市の担当者も参加されました。

「Let's ride! 美馬チャリ」

「公共交通機関の増設と高齢者」

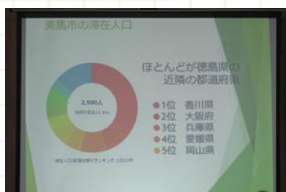
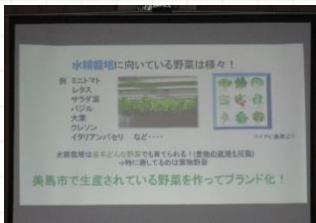


美馬市の観光地をめぐるサイクリングコースをつくり、空き家を休憩所として活用する。レンタルサイクルを行い、健康づくりにも生かす。

高齢化が進行する美馬市において、高齢者にとって公共交通機関の存在は大きい。バス路線が減少しているので、無人のAIバスを運行する。

「美馬市を救う! 農業方法改革」

「美馬市キャンプ作戦」



若者の就農者を増やすため、水耕栽培による農作物を生産し、美馬市ブランドをつくりだす。

美馬市は近隣の県から車で訪れる人が多い。RVパークを建設すれば、観光客の誘致にもつながるのではないかと。

台湾研修報告



3年生による台湾研修の報告

研修を通して、英語を「話す」ということについて、意識が大きく変わったそうです。

講評



普通科高校にとって、地域とつながりを持つ絶好の機会である。

学校概要説明・意見交換



教育委員からは、

- ・これから求められる力として表現力は大切。普段の授業から養っていく必要がある。
- ・リーダーシップや独創性の面をもっと身に付けていく必要がある。
- ・県外の学校との交流機会を設定すれば、生徒にとっても刺激になるのではないか。
- ・先進の事例などを紹介すれば、高校生はすぐに吸収するので、そういったことも大切ではないか。

などのご意見がありました。

教育長からは、

文武両道で限られた時間のなか、よく取り組まれている。
高校生同士が切磋琢磨できる場を設定すれば、もっと内容が充実してくるのではないか。海外研修等では生徒もそうだが、教員の意識が変わることが大切。われわれが受けたことのない教育をこれから生徒に対してしていかなければいけない。自分たちが変わらないと子供たちも変わらないので、そういう意識を持つことが大切。

とのご意見がありました。